

令和7年度 ことば園評価について

朝来市立竹田ことば園

A: 達成している(80%以上) B: 概ね達成している(70%以上) C: あまり達成していない(50%以上) D: 達成していない(50%未満)

評価項目		評価	今後の改善について	自己評価の妥当性 (ことば園関係者評価の意見等)	
園 運 営	1 保護者や外部に教育方針や活動内容を分りやすく伝えている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子が伝わるよう、コドモンでの配信を今後も続けていきたい。 ・防災、不審者、安全指導など、非常時に落ち着いて対応できるよう、いろいろな状況を想定した訓練を引き続き計画していく。 ・全年齢の担任で研修をもったことで共通理解できたこともたくさんあった。今後は介助員やパート職員も共に研修し高め合える場をもつことを考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日が月1回設けられていることで、子どもの成長がわかって良いと思う。 ・毎月の避難訓練を通して防災の意識が子ども達にも育まれているようで、大人が知らないことも話してくれ、家庭での防災意識にも繋がっている。 ・デジタル化になり、保護者の対応力にも差が生まれるのではないかと。うまく活用していく工夫が必要だと思う。
	2 保護者参観・行事・面談・園だより等開かれた園づくりをしている	A			
	3 P.T.Aや地域との連携を図り、特色ある教育活動に取り組んでいる	A			
	4 園児の健康の把握や健康管理等適切な指導や対応ができています	A			
	5 防災・不審者の危機管理等、安全指導に努めている	A			
	6 園内の環境美化に努め、施設・設備等の安全管理を適切に行っている	A			
	7 園運営に教職員の意見が反映されている	A			
	8 教職員の資質能力を高めるための研修を十分に行っている	A			
教 育 課 程	1 教育目標が自園の実態を把握し、園児や保護者のニーズにあった内容である	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もクラスでの育ちや学びを大切にしつつ、異年齢の繋がりも生まれるような保育を職員全体で考え、進めていきたい。 ・地域や小学校との交流は年齢によってはできにくいこともあるため、園内で共有する方法を考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や小学校との交流がたくさんもたれていた。
	2 園児の発達に即し、遊びを中心とした体験的な教育に取り組んでいる	A			
	3 生きる力の基礎を身につける指導・工夫をしている	A			
	4 心の教育・道徳性の芽生えを養う指導や工夫をしている	A			
	5 地域を活かした特色ある教育活動を行っている	A			
	6 ことば園・小学校・地域等との交流や連携を行い、保育・教育活動に活かしている	A			
	7 指導計画・行事の作成にあたっては教職員で話し合っている	A			
保 育 活 動	1 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に関心をもてるよう工夫している	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた環境や保育を工夫していきたい ・一人一人の思いを大切にしながら、子ども達の興味、関心に沿った環境が構成できるよう職員同士で連携していきたい。 ・無理のない範囲で異年齢が関われるような保育を展開していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのびと活動している様子が伝わってきた。 ・参観日には困っている友達に優しく声をかける場面も見られた。
	2 園児一人一人の発達を明確にし、共に育ち合える保育になっている	A			
	3 生命を大切にする心や、規範意識が芽生えるよう指導している	A			
	4 自分の思いを言葉等で伝え、相手の思いに気づく力や、伝え合う喜びを培っている	A			
	5 健康・安全に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいる	A			